



在沖米国海兵隊基地キャンプバトラー/ 米海兵隊普天間航空基地

2024 年度の環境マネジメントシステムに関わる目的及び目標

キャンプ・バトラー及び普天間航空基地は、環境マネジメントシステム(EMS)に基づき2024年度のEMSの目的及び目標を下記のように設定します。これらの目的及び目標は、海兵隊太平洋基地/キャンプ・バトラー基地司令官環境方針で示された使命に対する危機管理意識を反映し、また合致、補完するものです。そして、現段階での経済的・技術的制約の中で測定可能で達成しうるものであります。本目的及び目標の達成に際し、皆さまの全面的な支援をお願いします。

目的	目標
1. ユネスコ世界遺産地と北部訓練場を支援する自然資源管理	A. 統合的自然資源及び文化財管理計画 (INRCRMP)の更新 B. 侵略的外来種であるマングースの除去 C. 絶滅危惧種を含む動植物調査の実施
2. 沖縄本島内流出防止及び対応	A. 相違点及び相互に支援可能な地域を特定するための四軍共同流出ワークショップの開催 B. 流出対応訓練 C. 四軍間の覚書の更新 D. 沖縄地域における大規模流出対応契約の締結
3. 飲料水（水道水）システム 是正措置 (2023 年度からの継続)	A. 水道水システム脆弱性評価、水道水システム緊急時対応プランおよび代替飲料水プランの更新 B. 配水レベル1と2、浄水処理レベル1と2、逆流防止およびクロスコネクションのトレーニングの実施 C. 一方向フラッシング契約の締結
4. AFFF（水成膜泡消火剤） /PFAS 不備の修正 (2023 年度からの継続)	A. 6つの排出水保管タンクの不備を修正 B. 海兵隊太平洋基地（MCIPAC）での泡消火剤(AFFF)管理に関するEMPを作成 C. 海兵隊基地コマンド(MCICOM)の泡消火剤に関する段階的削減ガイドランスを実施